

麦作技術情報 No. 4

令和3年5月14日
鳥取県産米改良協会

- 令和3年産麦の収穫予想は、平年に比べて3日程度早まっています。
- 向こう1か月の天候は、平年に比べ曇りや雨の日が多いと予想されており、収穫に適した日が少なくなることが予想されます。
- 播種が早いほ場から順次収穫を行うなど、適期収穫を励行しましょう。

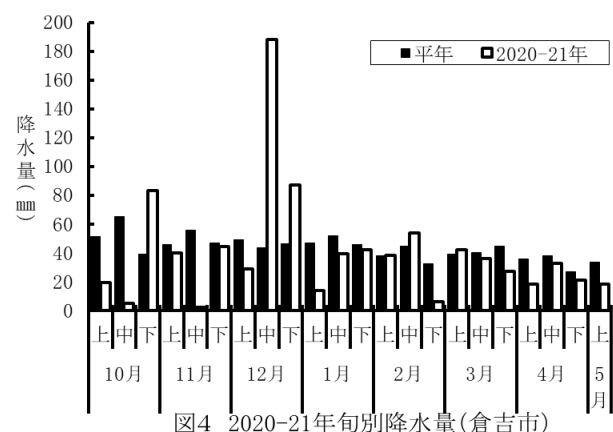
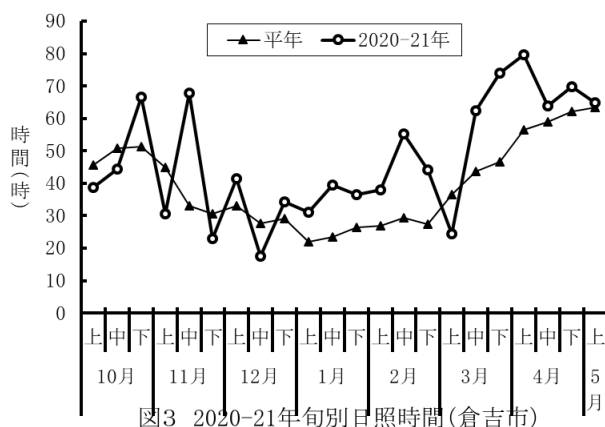
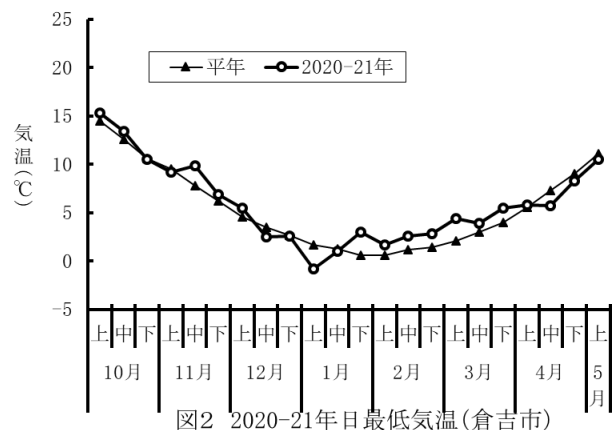
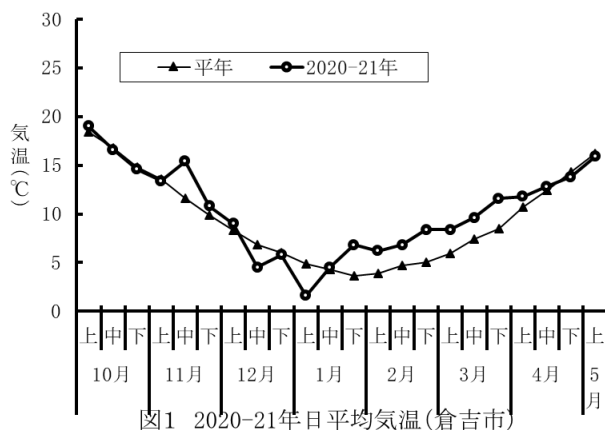
○農作業安全を徹底しましょう

・ほ場や農業機械の安全点検、熱中症の防止を図りましょう。

○適期収穫と適切な乾燥調製

- ・令和2年播種麦は、12月中旬から1月中旬は平年並～低めの気温で推移し平年に比べ降雪量が多かったが、1月下旬以降の高温の影響により、生育が早まった(出穂期:平年比7日早)。出穂後の気温は平年並、日最低気温はやや低く経過しているが、日照時間はやや多く登熟は順調である。
- ・品質を大きく左右する適期収穫が出来るかどうかが高品質麦生産の鍵を握るので、収穫適期の見極めと、適切な乾燥調製を徹底すること。

I 天気概況



1 現在までの気象状況

麦出穂後の4月から5月上旬の気象は、平年に比べて降水量が少なく(平年比 68%)、平均気温は平年並(平年比+0.2℃)、日最低気温は低く(平年比-0.7℃)、日照時間はやや多く(平年比 116%)経過した。

2 天気予報

中国地方 1か月予報 (5月15日から6月14日までの天候見通し)

令和3年5月13日
広島地方气象台発表

<特に注意を要する事項>
期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。

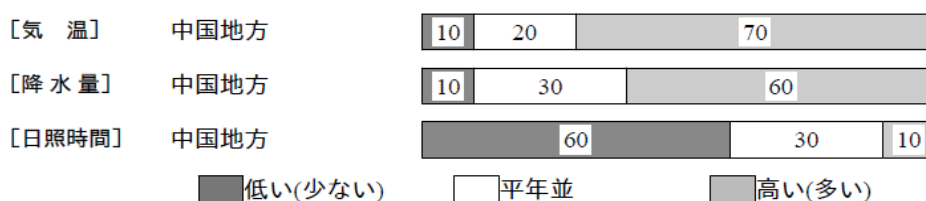
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

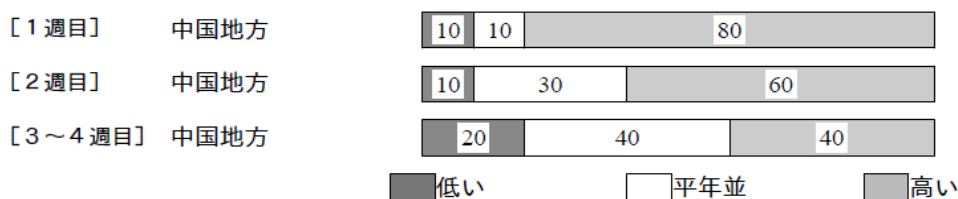
天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
向こう1か月の平均気温は、高い確率70%です。降水量は、多い確率60%です。日照時間は、少ない確率60%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、高い確率60%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 5月15日(土)～6月14日(月)
1週目 : 5月15日(土)～5月21日(金)
2週目 : 5月22日(土)～5月28日(金)
3～4週目 : 5月29日(土)～6月11日(金)

II 生育概況

1 二条大麦

○農業試験場

・農業試験場11月6日播種「しゅんれい」の出穂期は4月1日で、過去5年平均と比較するとほぼ平年並であるが、過去10年平均と比較すると7日早かった。穂揃期は4月5日でやや早く、生育期間を通して葉色は濃く推移していたが、穂揃期の葉色は平年並。穂数は平年比やや少ない。

・4月下旬の強風で倒伏が見られる。

・出穂後防除は適期に実施し、網斑病の発生は抑えられている。

○現地ほ場

・中部地区「しゅんれい」の出穂期は3月28日～4月8日頃、穂数は平年並～やや少ない傾向。一部で網斑病の発生や、雑草の発生が多いほ場が見られる。

2 小麦

・南部町の11月上旬播種「ミナミノカオリ」の出穂期は4月5日～7日、同下旬播種の出穂期は4月16日頃であった。下旬播種ほ場の一部で、4月10～11日の低温による不稔粒が見られるが10%未満。

Ⅲ 技術対策

本県産麦の最重要課題は高品質化である。そのための最終作業である収穫・調製作業については、降雨等の気象情報に注意し、収穫作業が円滑に進むよう、事前にコンバインの整備やカラスノエンドウ等混入時の選別が難しい雑草の抜き取り等の準備を行っておく。

1 収穫

11月上旬播種の大麦収穫適期目安

令和3年5月13日現在

品種	産年	出穂期	出穂期～ 成熟期日数	出穂期～ 成熟期積算 気温	成熟期目安	収穫適期目安
		月日	日	℃	月日	月日
二条大麦 (しゅんれい)	過去10年平均	4月8日	46	763	5月24日	6月2日 ～ 6月4日
	令和3年産	4月1日	50		5月21日	5月30日 ～ 6月1日

注1) 令和3年産の成熟期は過去平均の登熟期間と出穂期～成熟期積算気温の過去平均から推定した。

注2) 積算気温は出穂期を起算日とし、5/13以降の平均気温は過去10年平均並および+0.5℃で算定した。

注3) 収穫適期目安は二条大麦は成熟期+9～11日

(1) 刈取適期の判定

・収穫適期は、熟色がついて茎葉の青味がとれ、大部分(80%以上)の穂首が90度以上曲がった頃で、適期幅は3～5日と短いとされている。中部地区の実績から収穫適期は成熟期から9～11日後とする。(参考資料1参照)

・ビール麦は収穫時に損傷を受けると発芽勢が落ちて品質上問題となるので、子実が硬くなる穀粒水分25%以下の状態で刈り取りを行い、コンバイン扱胴回転数は機種所定の範囲(水稻より下げる)に設定する。

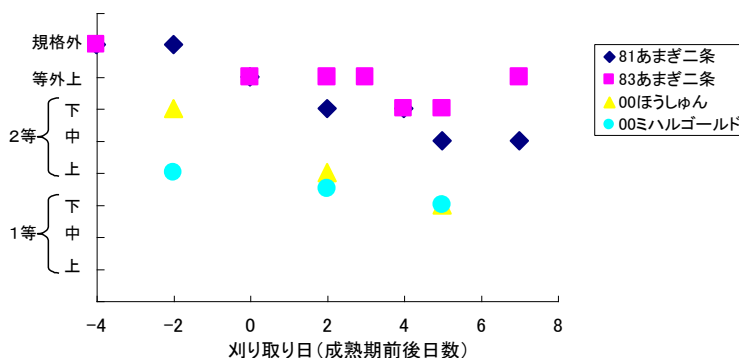


図 ビール麦刈り取り日と検査等級(福岡農総試)

(2) 品質低下の防止

- ・刈取適期より早く収穫すると、子実の充実度不足や色浅未熟等により下位等級に格付けされやすくなる。
- ・凸腹粒は成熟期以降の降雨には影響しない。
- ・ほ場による成熟程度のばらつきがある場合、成熟期の異なるほ場を同じ日に刈り取らない。
- ・倒伏の著しいほ場・熟れむらのあるほ場は、他と分けて収穫し、調製施設でも区分して荷受けし、不良品が混ざらないように注意する。
- ・好天が予想される場合は熟れの遅い部分に合わせて収穫する。ただし全体に遅穂が多いような生育の場合は、強勢穂を基準にして遅穂が登熟する前に収穫する。

2 収穫後、乾燥調製まで

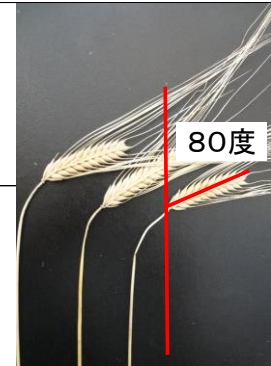
・高水分麦は貯蔵中に発芽障害を起こしやすいので、刈取後2時間以内には乾燥施設に張込み、乾燥開始までは常温通風する(ビール麦)。また、刈取当日に必ず乾燥作業を開始する。

【参考資料1】

ビール麦「しゅんれい」の刈取適期表(倉吉農業改良普及所作成)

平成27年産 倉吉農業改良普及所調査データ

		立毛状況	穂の状況	粒の状況	水分 (%)	備考
成熟期 (5/25)					24.9	<ul style="list-style-type: none"> ・穂首は緑がほぼ抜ける ・穂首の曲がり0度 ・チリメンジワがよっていない粒がある
成熟期 2日後 (5/27)					19.3	<ul style="list-style-type: none"> ・穂首は緑が抜ける ・穂首の曲がり20～30度 ・チリメンジワが少ない
刈取厳禁 (発芽勢低下)	成熟期 4日後 (5/29)				15.8	<ul style="list-style-type: none"> ・穂首の曲がり20～45度 ・チリメンジワが確認できるが、爪で押すと爪跡が残る粒が多い
	成熟期 7日後 (6/1)				18.1 (2日前降雨あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・穂首の曲がり30～65度 ・穂首の曲がり具合にばらつきがある ・チリメンジワが増え、粒の大半が堅い ・ほ場全体を見ると芒がキラキラ見える
現地の 刈取時期	成熟期 9日後 (6/3)				19.9 (当日降雨あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・穂首の曲がり60～80度 ・穂首の傾きが概ね揃う ・チリメンジワは多く、粒は全てが堅い ・ほ場全体を見ると芒が目立ちにくくなる
	成熟期 11日後 (6/5)				19.7	<ul style="list-style-type: none"> ・穂首の曲がり100度以上 ・チリメンジワは多く、粒は全てが堅い ・芒が概ね見えなくなり、穂首のアーチの頂点が見えるため、ほ場全体が茶色っぽく見える ・やや粒の光沢がなくなる



※調査ほ場 鳥取県倉吉市古川沢

※播種日 2014年11月15日、出穂期 2015年4月14日

※水分は5回計測後の平均値(株式会社ケット科学研究所 米麦水分計ライスタm)

※成熟期11日後の写真のみ諸事情により調査場所が異なる(ほ場は同じ)

【参考資料2】

※農作業中の熱中症と農作業事故防止の注意喚起をお願いします。

農作業中の熱中症は、 しっかりした準備で防ぎましょう！




春先から気温が上昇してきます。この時期は身体が暑さに慣れていない状態です。

このため、春先でも農作業中の熱中症が報告されています。しっかりした準備で熱中症を予防しましょう。

1 こんなときに注意

 <p>からだ暑さに馴れていない</p>	 <p>急に暑くなる日 春先でも熱中症が発生しています。</p>	 <p>特にハウス内</p>
---	---	---

2 休憩をこまめにとり、水分を十分補給しましょう

 <p>・農作業の際には、ペットボトルや水筒を携帯しましょう。</p> <p>・おしっこの色で自身の脱水程度を測り、水分補給の目安にしましょう。「おしっこカラーチャート」</p>		<p>たくさん汗をかいた時には、塩分補給も必要です。</p>  <p>1~2gの食塩 1ℓの水</p>
--	---	--

3 帽子の着用や汗を発散しやすい服装で作業しましょう



・直射日光は帽子で防ぐようにします。
・休憩時は、保護具など外すか緩めるなどして、熱を逃がすようにします。

4 農作業後の水分補給も忘れずに



農作業着後、帰宅途中や帰宅後に発症する例も少なくありません。

鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会(愛称:農安協)

問合せ:鳥取県農林水産部とっとり農業戦略課:電話 0857-26-7327、JA鳥取県中央会:電話 0857-21-2607